



主要ニュース

▶ 最新ニュースはNHKニューストップへ

※ すべての機能を利用するには、JavaScriptを有効にしてください。

自殺者 対策強化の3月は減少

4月17日 4時11分

政府が初めて自殺防止の緊急対策を実施した先月、全国で自殺した人は2898人で、去年の3月に比べて205人減りました。自殺対策に取り組むNPO法人の代表は「緊急対策の効果が表れているとみられるが、自殺する人が毎日出ている事態は変わらない。地域の実情に合った取り組みを継続していく必要がある」と話しています。

12年連続で自殺する人が3万人を超えている事態を受けて、政府は、自殺する人が例年最も多い3月を初めて「自殺対策強化月間」と位置づけ、失業した人たちの相談に乗る窓口をハローワークに設けるなど緊急の対策を実施しました。警察庁によりますと、先月に自殺した人は全国で2898人で、去年の3月に比べて6.6%、205人減りました。人数の減少幅としては、月別の数字が公表されたおとし1月以降で2番目に大きくなりました。全体の70%以上を男性が占めていて、地域別に見ますと、最も多かったのが東京都で254人、次いで大阪府が170人、北海道と愛知県が149人などとなっています。また、ことしの1月から先月までに自殺した人はあわせて7815人で、去年の同じ時期に比べて445人減り、去年9月から7か月連続で前の年の同じ月を下回りました。自殺対策に取り組むNPO法人の代表清水康之さんは「緊急対策の効果が表れているとみられるが、自殺する人が毎日出ている事態は変わらない。それぞれの地域の実情に合った取り組みを継続していく必要がある」と話しています。